

#53



資産形成の学校

STEP3・WPP

定年後の働き方 出口の収入の考え方

Q

老後のお金で
安心するためには、
どうしたらいいの？

A

将来の見通しを立て、
今できるベストを尽くし
来るべく老後に対し
正しく備えること

出口戦略

安心な老後に向けた
WPPモデル

結論

WPPモデルを基本として、3つの収入源を確保すること

W

勤労
収入

P

資産
収入

P

年金
収入

目次 定年後の働き方

- ① WPPで考える出口戦略
- ② 3つのモデルで学ぶ出口戦略
- ③ 正しく理解する定年後の働き方
- ④ 定年後の幸福の関係
- ⑤ 本日のまとめ
- ⑥ 質疑応答

Q

定年後も働くイメージ
が全然つきません。

スキルも資格もないし
どうしたらいいの？

A

定年後の働き方や
生き方を正しく理解し、
今から資産形成と併せて
スキルアップしよう

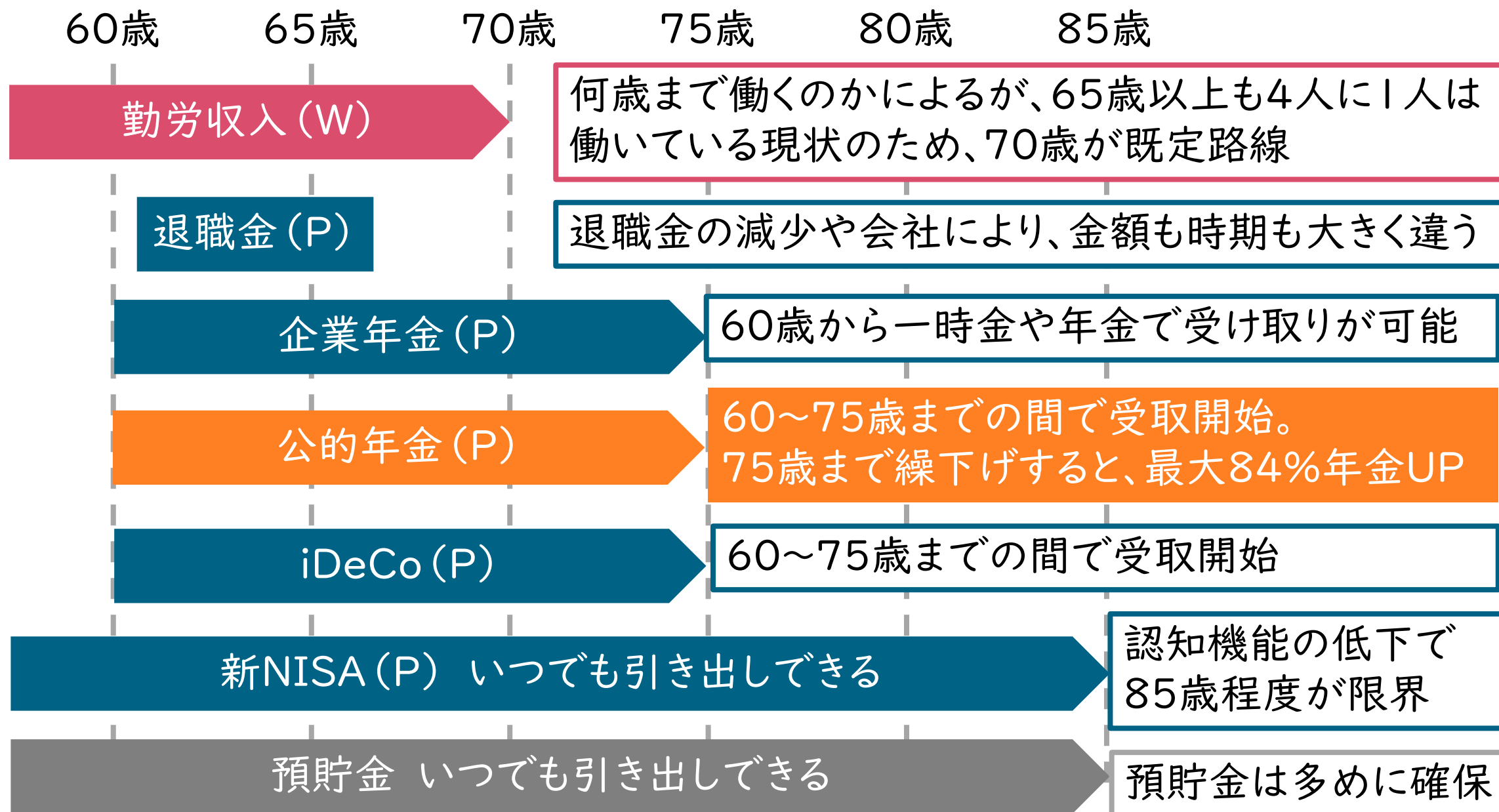
A

どれくらい収入を得て
働く必要があるのか、
考え方を理解して
イメージしてみよう

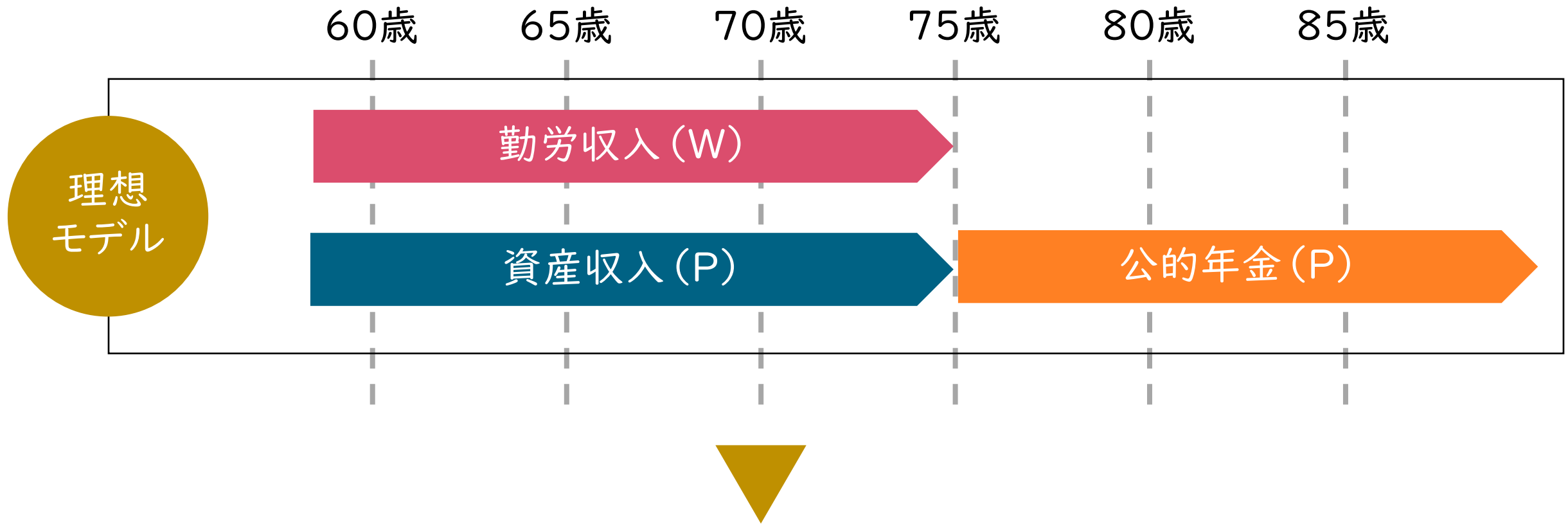
前提条件

年金だけで
毎月の生活費を賄う
と想定した場合

出口戦略で考えるべき収入一覧 (WPP)



出口戦略で考える「理想モデル」



将来のお金の不安を解決するためには、WPPの3つの収入を確保すること

理想はできるだけ長く働くことで、長く勤労収入を確保していくこと

参考 3つの収入源を確保しているのは全体のたった6%

WPPモデルを実行できている方はほとんどいないのが現状

勤労収入・年金収入・資産収入の関係

(単位：人、%)

勤労	年金	資産運用	60-64歳	構成比	65-69歳	構成比	合計	構成比
○	○	○	142	3.8%	252	9.2%	394	6.1%
○	×	○	650	17.3%	72	2.6%	722	11.1%
○	×	×	944	25.2%	92	3.4%	1036	16.0%
○	○	×	195	5.2%	359	13.1%	554	8.5%
×	○	○	289	7.7%	746	27.3%	1035	16.0%
×	○	×	395	10.5%	1071	39.2%	1466	22.6%
×	×	○	403	10.7%	38	1.4%	441	6.8%
×	×	×	685	18.3%	61	2.2%	746	11.5%
合計			3752	100.0%	2734	100.0%	6486	100.0%

(注)勤労、年金、資産運用の○はそれぞれ「働いている」、「年金を受給している」、「資産運用をしている」を示す。×はそれぞれ行っていないことを示す。合計にはそのほか含まれるため一致しない。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

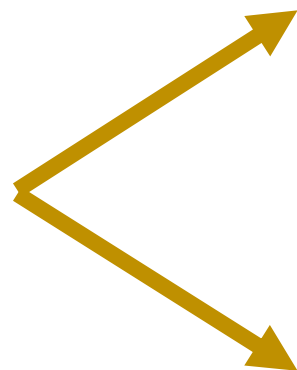
計算の参考数値

計算の参考値まとめ

一般的な夫婦の年金
約22万円

一般的な夫婦の支出
約24万円

現役世代の手取り収入
約37万円



5年繰り下げ1.14倍
約25万円

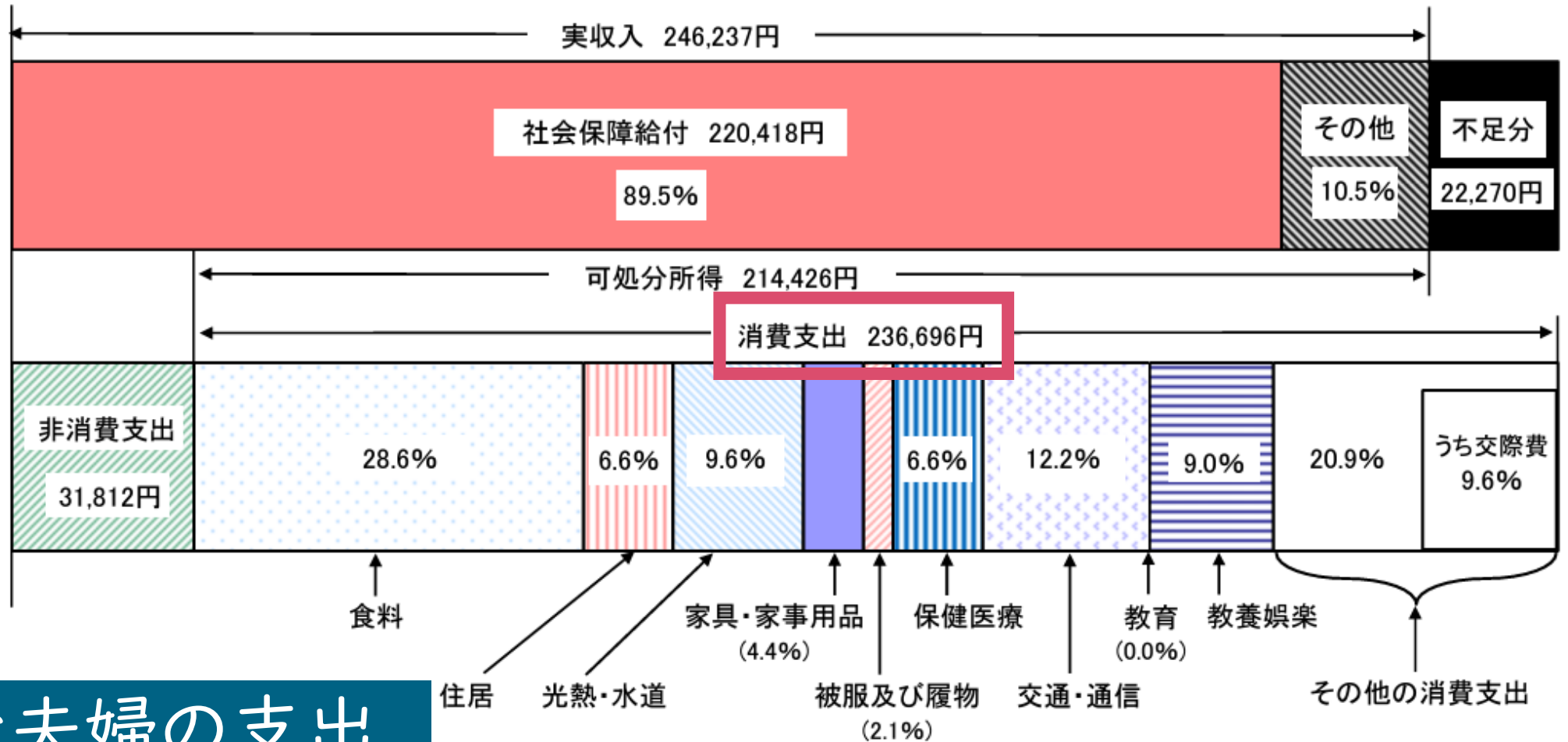
10年繰り下げ1.47倍
約32万円

※年金は20%減少を考慮したあとで、84%UPすると、1.47倍に。

60歳以上資産の中央値
1,506万円

(参考) 一般的な夫婦の支出を約24万円と想定して計算

図1 65歳以上の夫婦のみの無職世帯（夫婦高齢者無職世帯）の家計収支 —2022年—

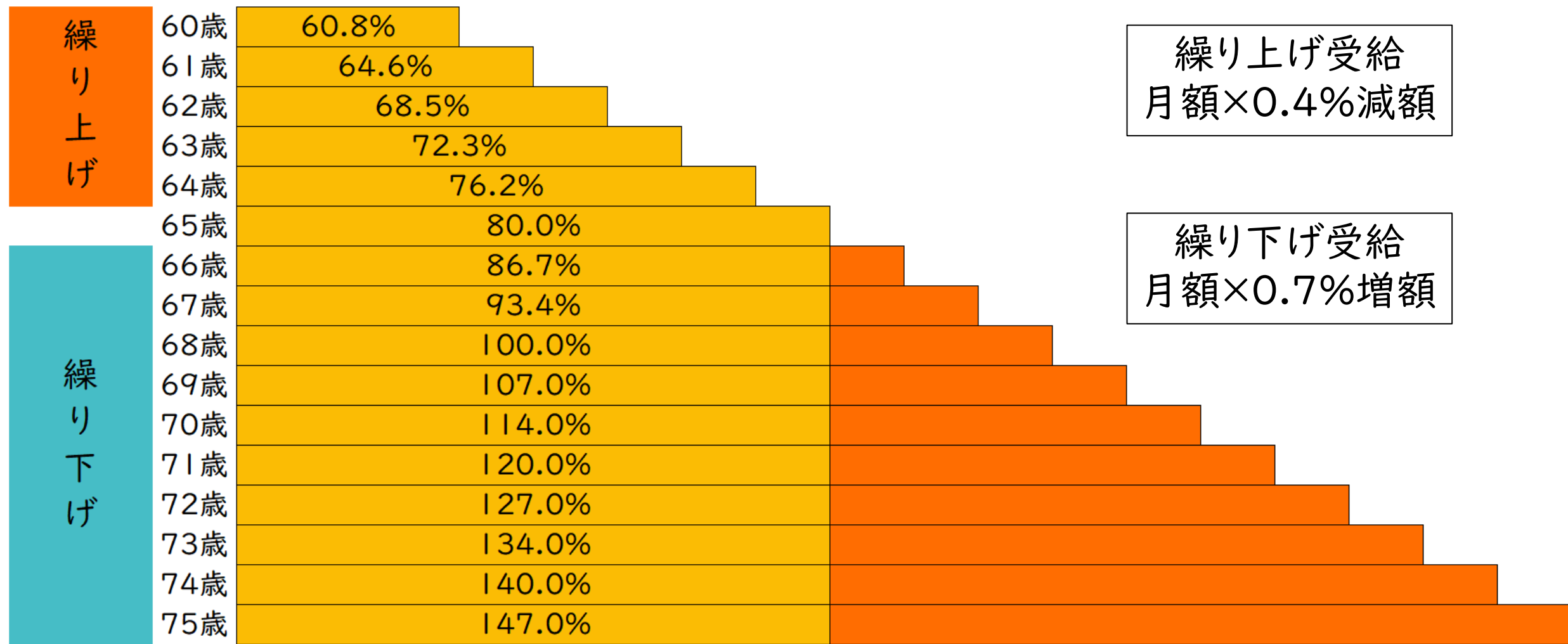


一般的な夫婦の支出
約24万円

出典:総務省「令和5年度の年金額の例(67歳以下の場合)」より

(参考) 将来的な年金が減少した場合を想定

将来的な年金は20%減を想定し計算



(参考) 2024年7月3日発表の財政検証の結果「20%低下」

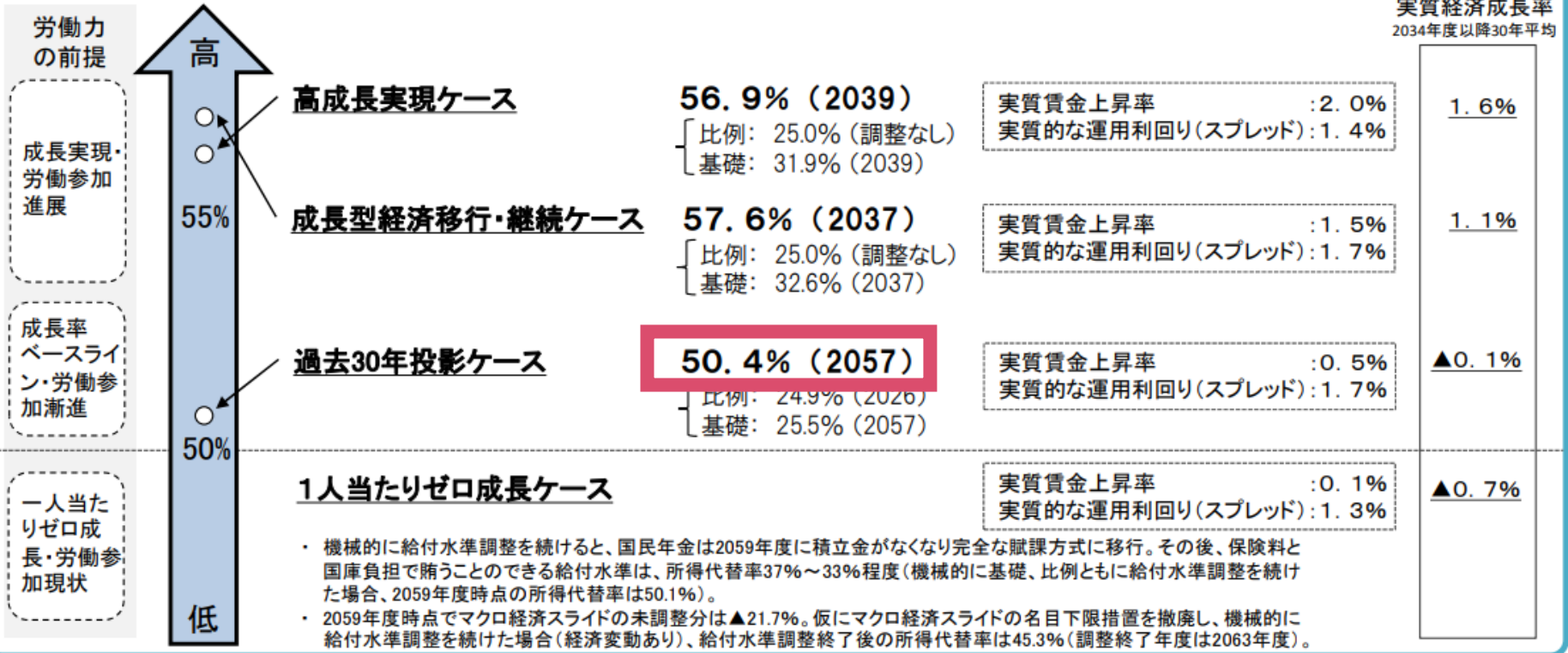
給付水準の調整終了年度と最終的な所得代替率の見通し（令和6（2024）年財政検証）

－ 幅広い複数ケースの経済前提における見通し － 出典：厚生労働省「2024年度財政検証」

足下の所得代替率※（2024年度）	※ 公的年金の給付水準を示す指標。現役男子の平均手取り収入額に対する年金額の比率により表される。
61.2% 〔 比例：25.0% 基礎：36.2% 〕	所得代替率 = (夫婦2人の基礎年金 + 夫の厚生年金) / 現役男子の平均手取り収入額 2024年度： 61.2% 13.4万円 9.2万円 37.0万円 注：所得代替率に用いる年金額は、平成16年改正法附則第2条の規定に基づき前年度までの実質賃金上昇率を全て反映したもの。

将来の所得代替率

※ 給付水準調整終了後の所得代替率であり、()内は給付水準の調整終了年度である。



2024年

現在の所得代替率
61.2%

33年後

2057年

過去30年で同じ程度
経済状況が続く場合

2割低下の所得代替率
50.4%

(政府目標は50%維持)

※ 最低賃金が2030年代半ばに1,500円(全国加重平均)となった場合、短時間労働者の厚生年金適用が増加する効果により基礎年金に係る所得代替率はさらに上昇。
(高成長実現ケース：+0.4%ポイント、成長型経済移行・継続ケース：+0.4%ポイント、過去30年投影ケース：+0.3%ポイント)
注1：試算における人口の前提は、中位推計(出生中位、死亡中位、入国超過数16.4万人)。
注2：高成長実現ケースの実質経済成長率や実質賃金上昇率は成長型経済移行・継続ケースより高いものの、賃金を上回る実質的な運用利回り(スプレッド)が低いため、所得代替率は成長型経済移行・継続ケースより低くなっている。なお、平成26(2014)年財政検証においても同様の結果が生じている。

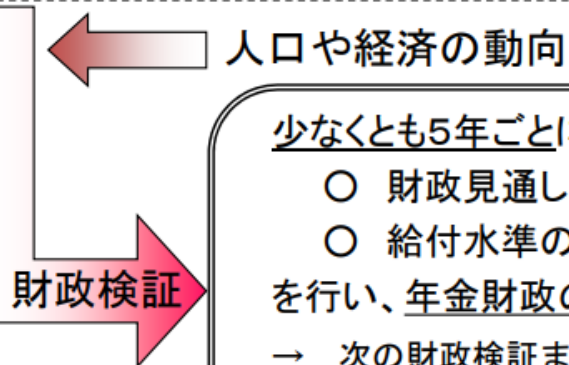
(参考) 現役世代の平均手取り収入「37万円」

財政検証について

出典:厚生労働省「2024年度財政検証」

平成16(2004)年年金制度改正における年金財政のフレームワーク

- 上限を固定した上での保険料の引上げ
(最終保険料(率)は国民年金17,000円(2004年度価格)、厚生年金18.3%)
※産前産後期間の保険料免除による保険料の引上げ100円分含む(国民年金)
- 負担の範囲内で給付水準を自動調整する仕組み(マクロ経済スライド)の導入
- 積立金の活用 (おおむね100年間で財政均衡を図る方式とし、財政均衡期間の終了時に給付費1年分程度の積立金を保有することとし、積立金を活用して後世代の給付に充てる)
- 基礎年金国庫負担の2分の1への引上げ



少なくとも5年ごとに、

- 財政見通しの作成
 - 給付水準の自動調整(マクロ経済スライド)の開始・終了年度の見通しの作成
- を行い、年金財政の健全性を検証する
- 次の財政検証までに所得代替率(※)が50%を下回ると見込まれる場合には、給付水準調整の終了その他の措置を講ずるとともに、給付及び負担の在り方について検討を行い、所要の措置を講ずる

※所得代替率… 公的年金の給付水準を示す指標。現役男子の平均手取り収入額に対する年金額の比率により表される。

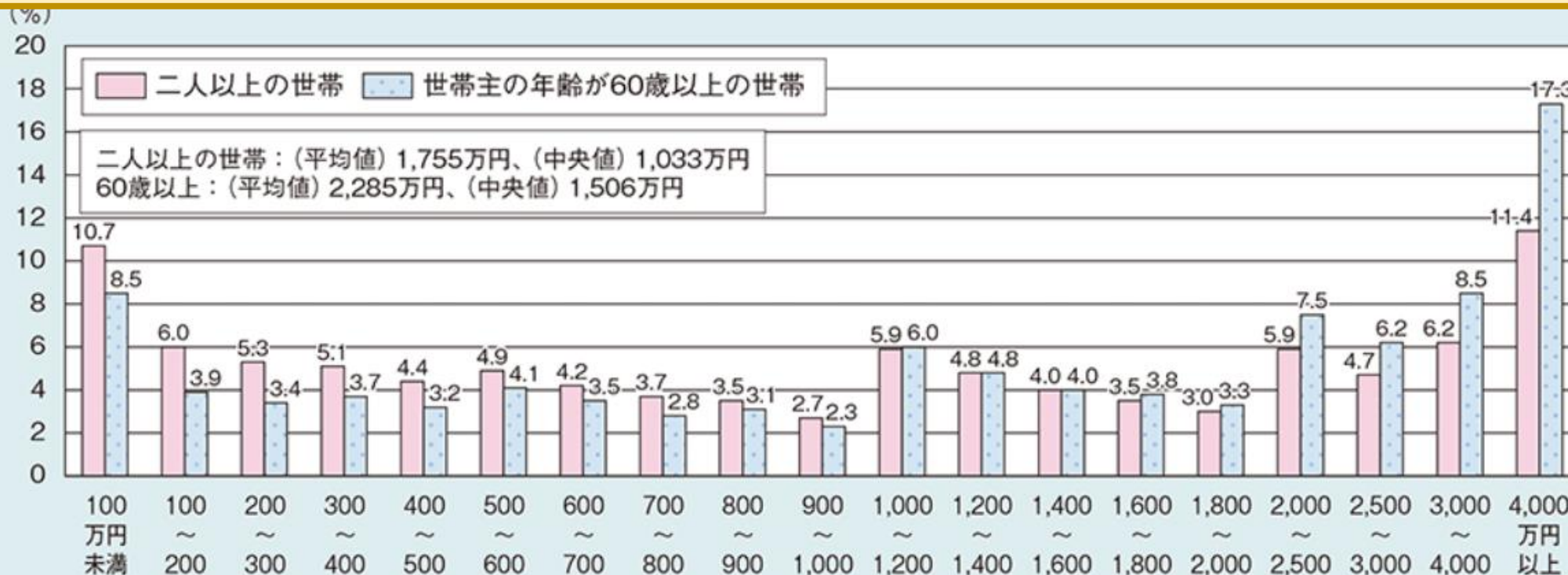
所得代替率	=	(夫婦2人の基礎年金 + 夫の厚生年金)	÷	現役男子の平均手取り収入額
2024年度:	61.2%	13.4万円	9.2万円	37.0万円

注: 所得代替率に用いる年金額は、平成16年改正法附則第2条の規定に基づき前年度までの実質賃金上昇率を全て反映したもの。

(参考) 貯蓄現在高の階級別世帯分布

60歳以上の世帯の貯蓄の中央値：1,506万円

世帯主
の年齢



資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」(令和元年)

(注1) 単身世帯は対象外

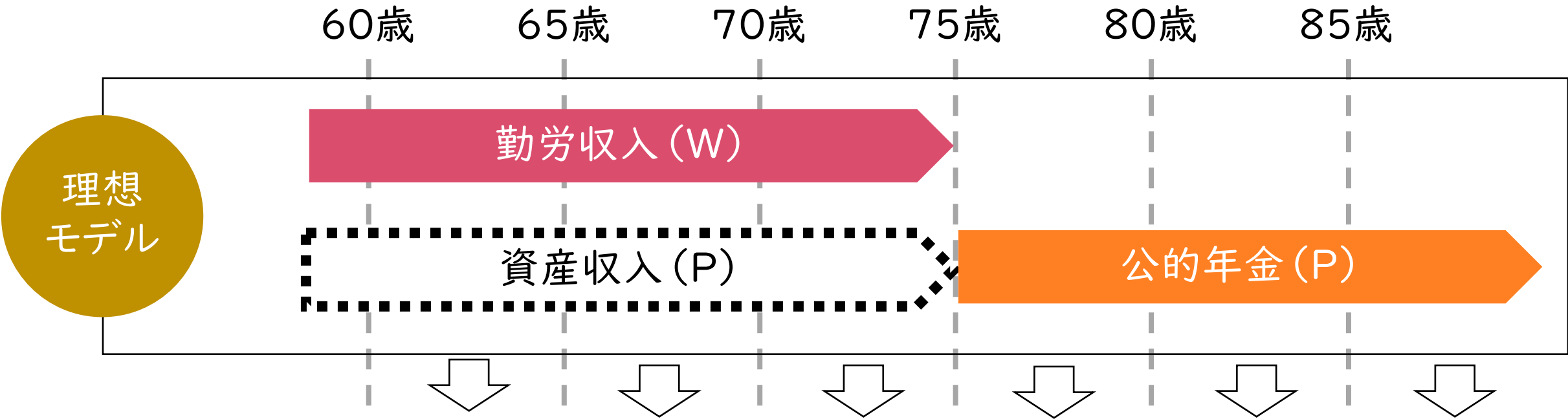
(注2) ゆうちょ銀行、郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構、銀行及びその他の金融機関（普通銀行等）への預貯金、生命保険及び積立型損害保険の掛金（加入してからの掛金の払込総額）並びに株式、債券、投資信託、金銭信託などの有価証券（株式及び投資信託については調査時点の時価、債券及び貸付信託・金銭信託については額面）といった金融機関への貯蓄と、社内預金、勤め先の共済組合などの金融機関外への貯蓄の合計

(注3) 中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

①超理想モデル

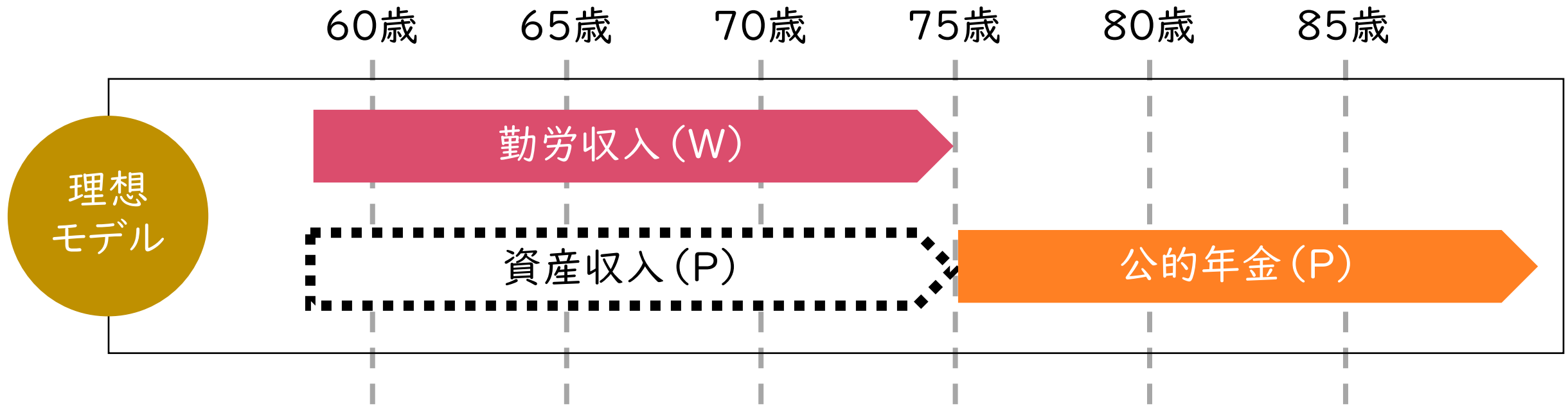
75歳まで働いた場合

例) 超理想モデル



WPP	60～65歳	65～70歳	70～75歳	75～80歳	80～85歳	85歳～
勤労収入	37	24	24	0	0	0
資産収入	0	0	0	0	0	0
年金収入	0	0	0	32	32	32

例) 超理想モデル

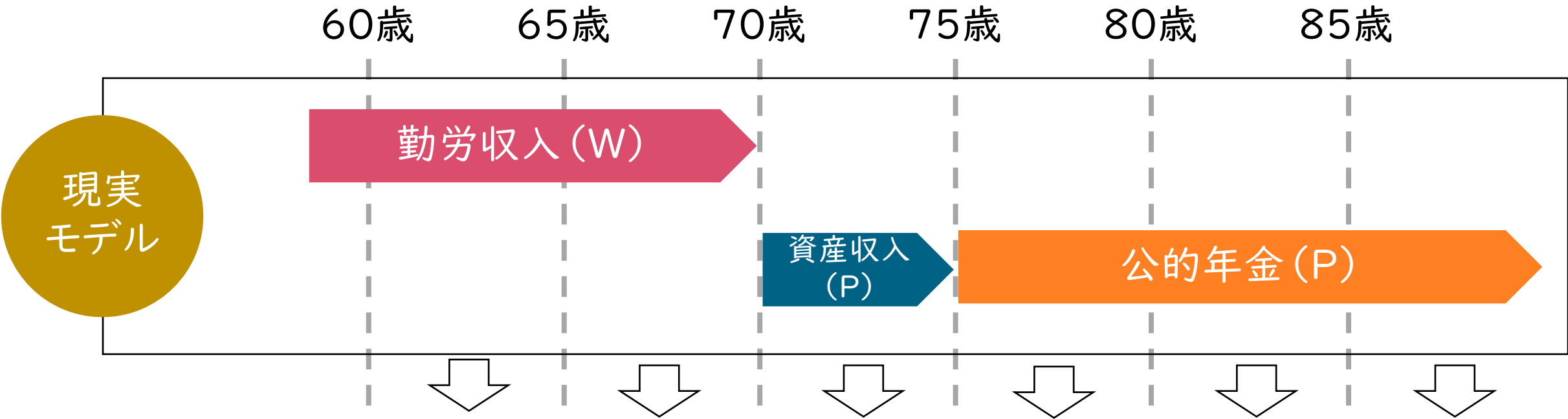


- ・60歳以降も元の勤務先で継続をしたり、再就職をしたりした場合、勤労収入は約24万円あるので、生活費24万円をまかなうことができる
- ・今までの貯蓄してきた、資産からの資産収入を得なくても生活ができるので、生活をしていくだけであれば資産を取り崩す必要がない。
- ・勤労収入と年金収入だけで、生活ができる超理想的なモデルの考え方

②現実的モデル

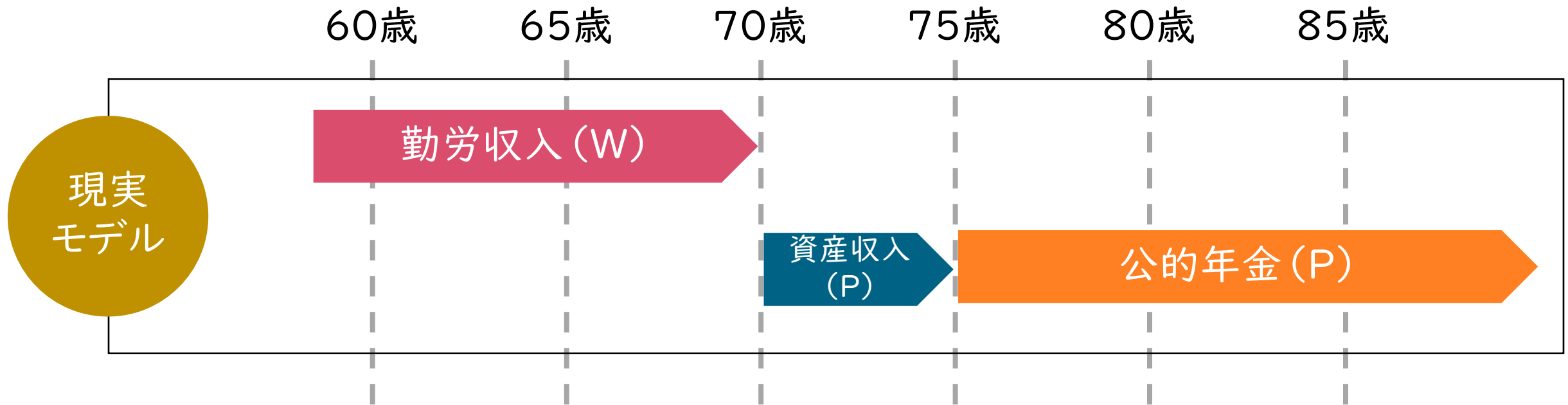
70歳まで働いた場合

例) 現実的モデル



WPP	60～65歳	65～70歳	70～75歳	75～80歳	80～85歳	85歳～
勤労収入	37	24	0	0	0	0
資産収入	0	0	24	0	0	0
年金収入	0	0	0	32	32	32

例) 現実的モデル

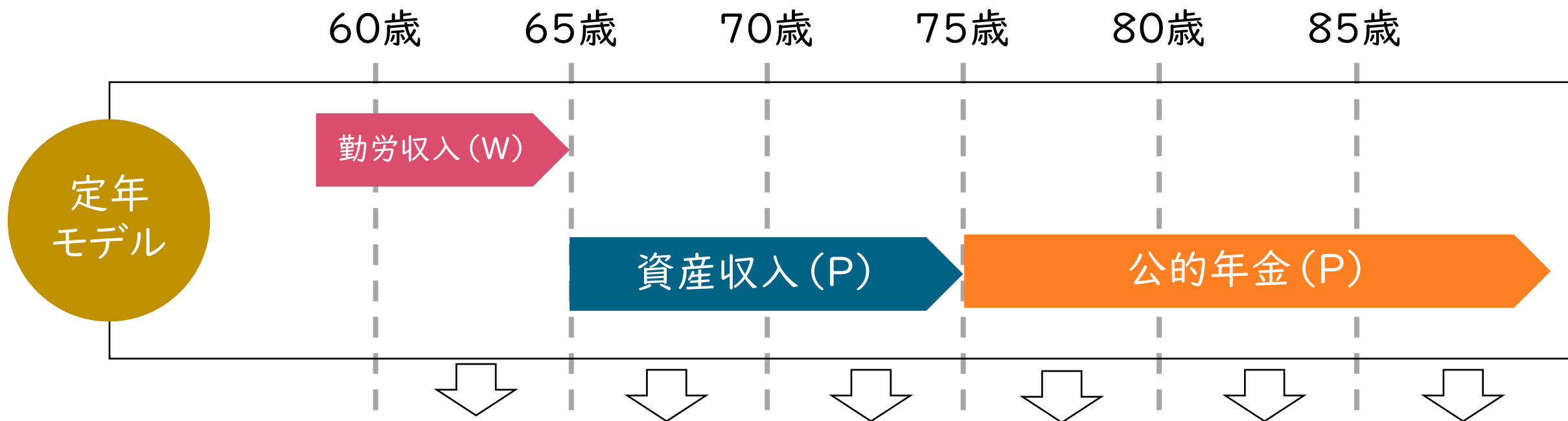


- ・再雇用で70歳まで働き、退職をして、年金を受け取るまでは資産収入で生活費24万円をまかなう場合、1年間で288万円、5年間で約1440万円
- ・世帯主の年齢が60歳以上の世帯の貯蓄高の中央値は1506万円なので70歳から75歳までにすべて使うことを考えると、まかなえる。
- ・70歳までは働ける企業もふえてきているため、現実的なモデルである

③定年退職モデル

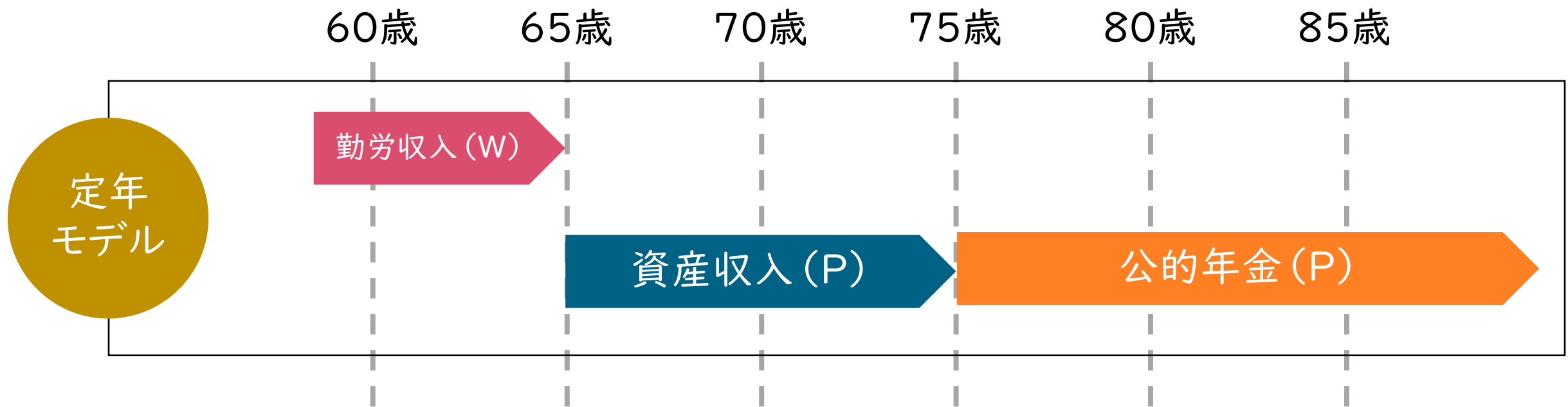
65歳まで働いた場合

例) バランスモデル



WPP	60～65歳	65～70歳	70～75歳	75～80歳	80～85歳	85歳～
勤労収入	37	0	0	0	0	0
資産収入	0	24	24	0	0	0
年金収入	0	0	0	32	32	32

例) バランスモデル



- ・年金を受け取るまでは10年間あるため、生活費24万円をまかなう場合、1年間で288万円、10年間で約2880万円必要になる。
- ・世帯主の年齢が60歳以上の世帯では、4,000万円以上の貯蓄を有する世帯が17.3%あるので、5人に1人は可能である。
- ・長く働きたくない人でも資産を貯めておけば十分に可能なモデル

みなさんは
どのモデルを
基本にしますか？

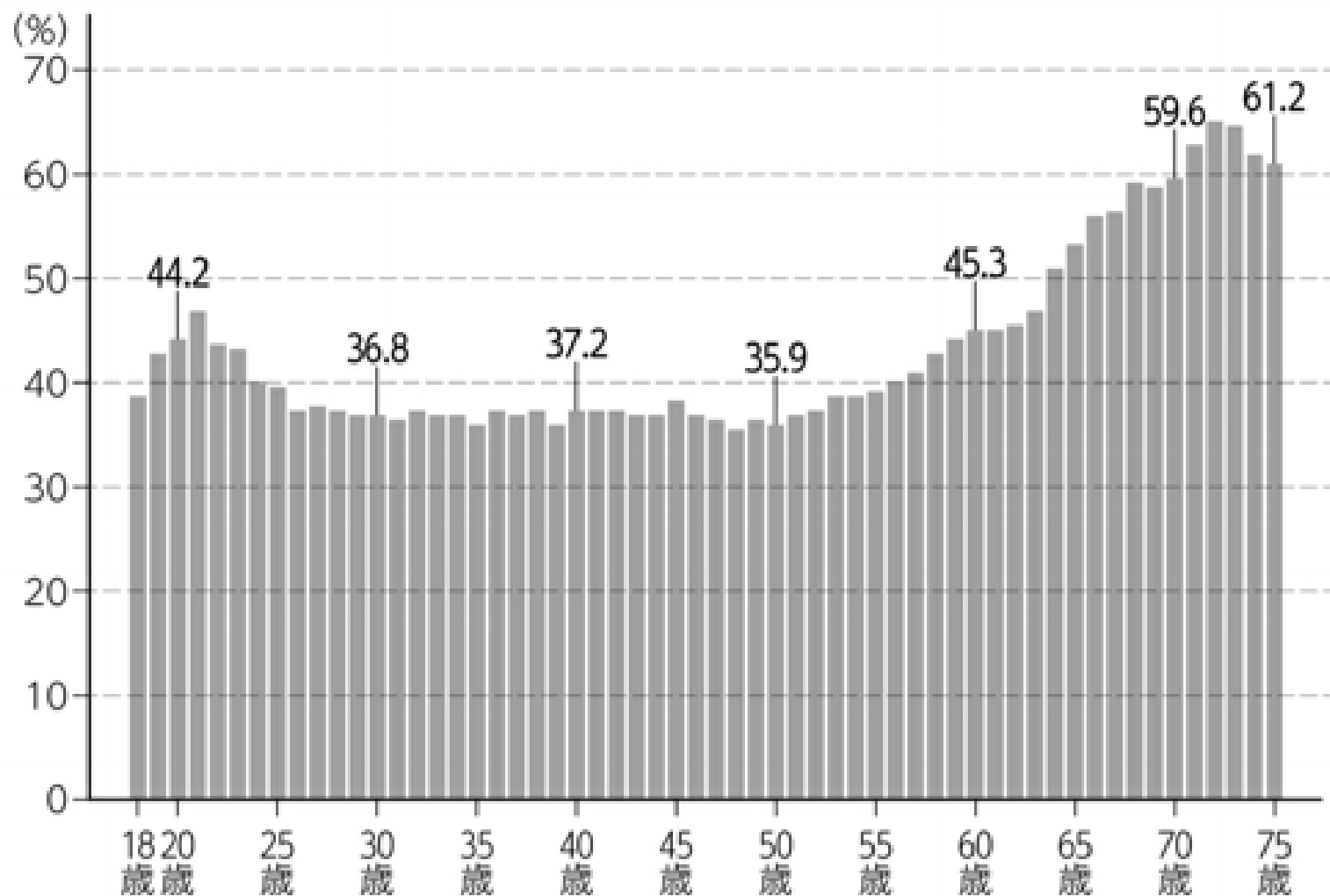
正しく理解する
定年後の働き方

データからいえること

実は・・・
定年後の仕事は
魅力的である

定年後の仕事は想像以上に満足度が高い

図表1-35 仕事に満足している人の割合



(注)2019年の値

(出典)リクルートワークス研究所「全国就業実態パネル調査」

世の中のイメージ

- ・定年後も働くななんて・・・
辛い・・・死ぬまで働きたくない
- ・低い給与で働く仕事はみじめ



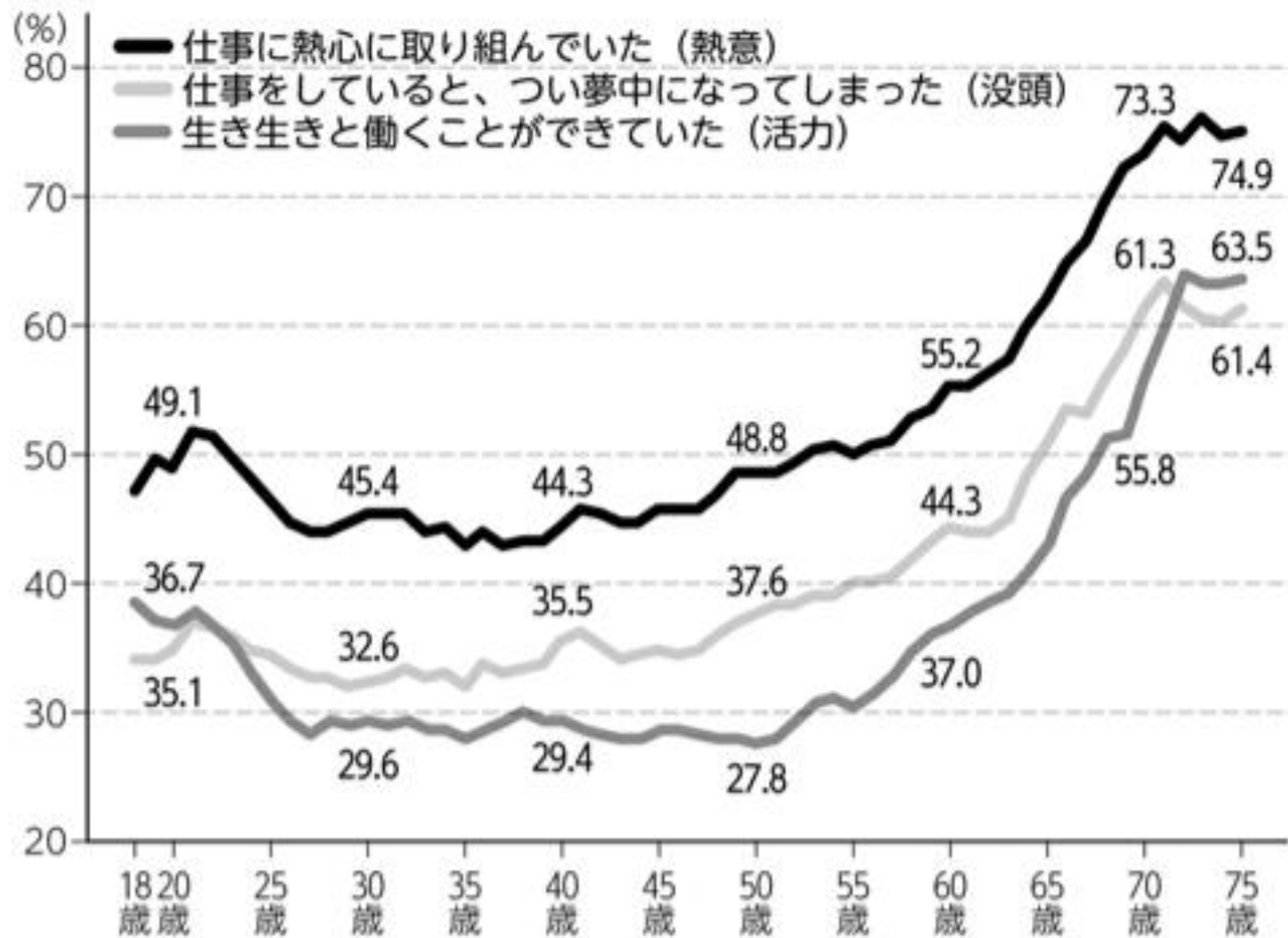
実際に働いている人

- ・定年後の方が満足度が高い
- ・70歳の5人に3人が満足

※仕事を継続した人も同様に満足があがっているデータあり

定年後の仕事は想像以上に満足度が高い

図表1-36 年齢別のワークエンゲージメントの推移



(注)2019年の値

(出典)リクルートワークス研究所「全国就業実態パネル調査」

ワークエンゲージメント
(仕事の充実度)

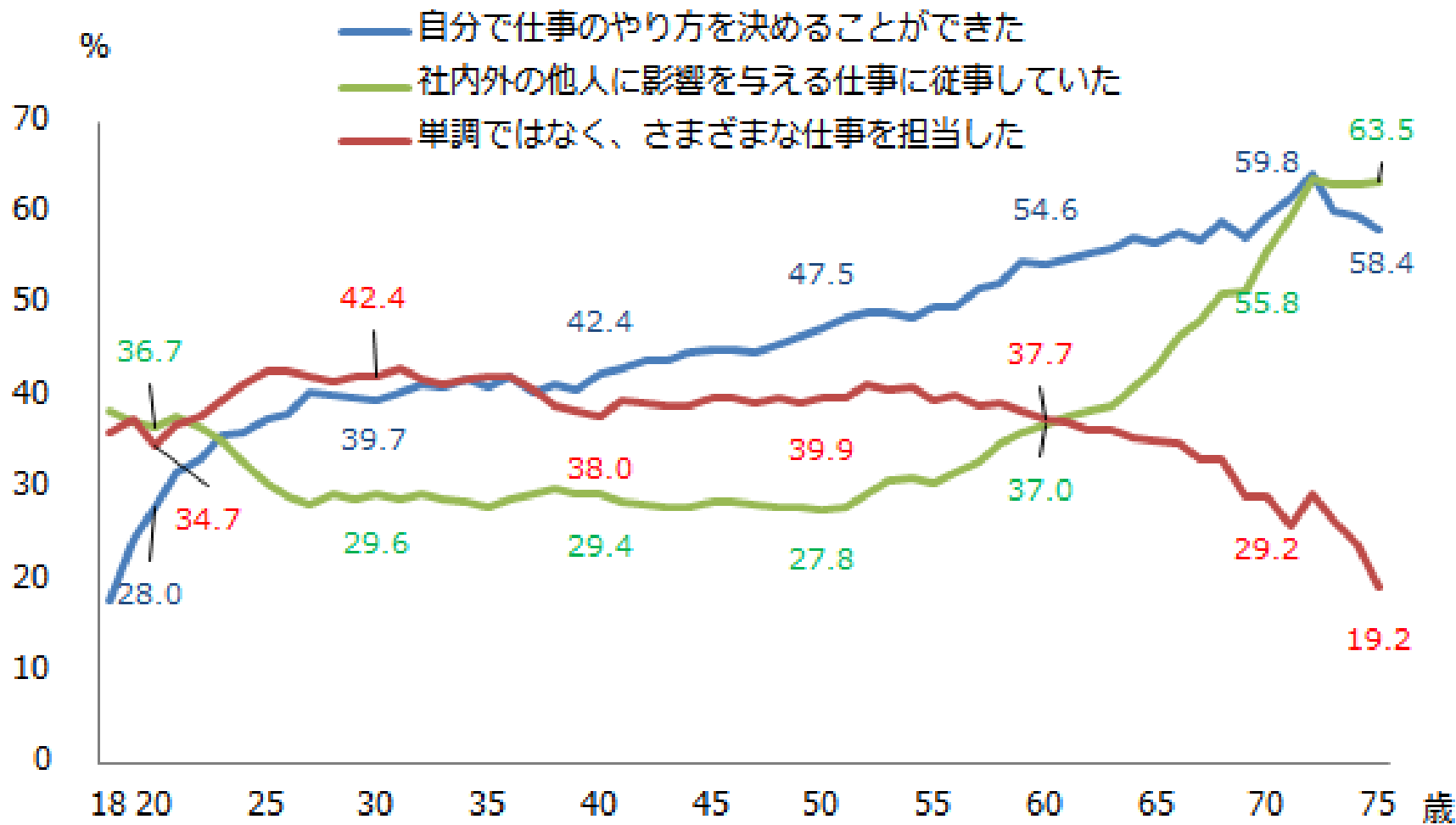
- ・熱意
- ・没頭
- ・活力



高齢の方が高い

Q なぜ定年後は仕事の満足が高いのか？

理由：自分で仕事のやり方を決めて、他社貢献できるから

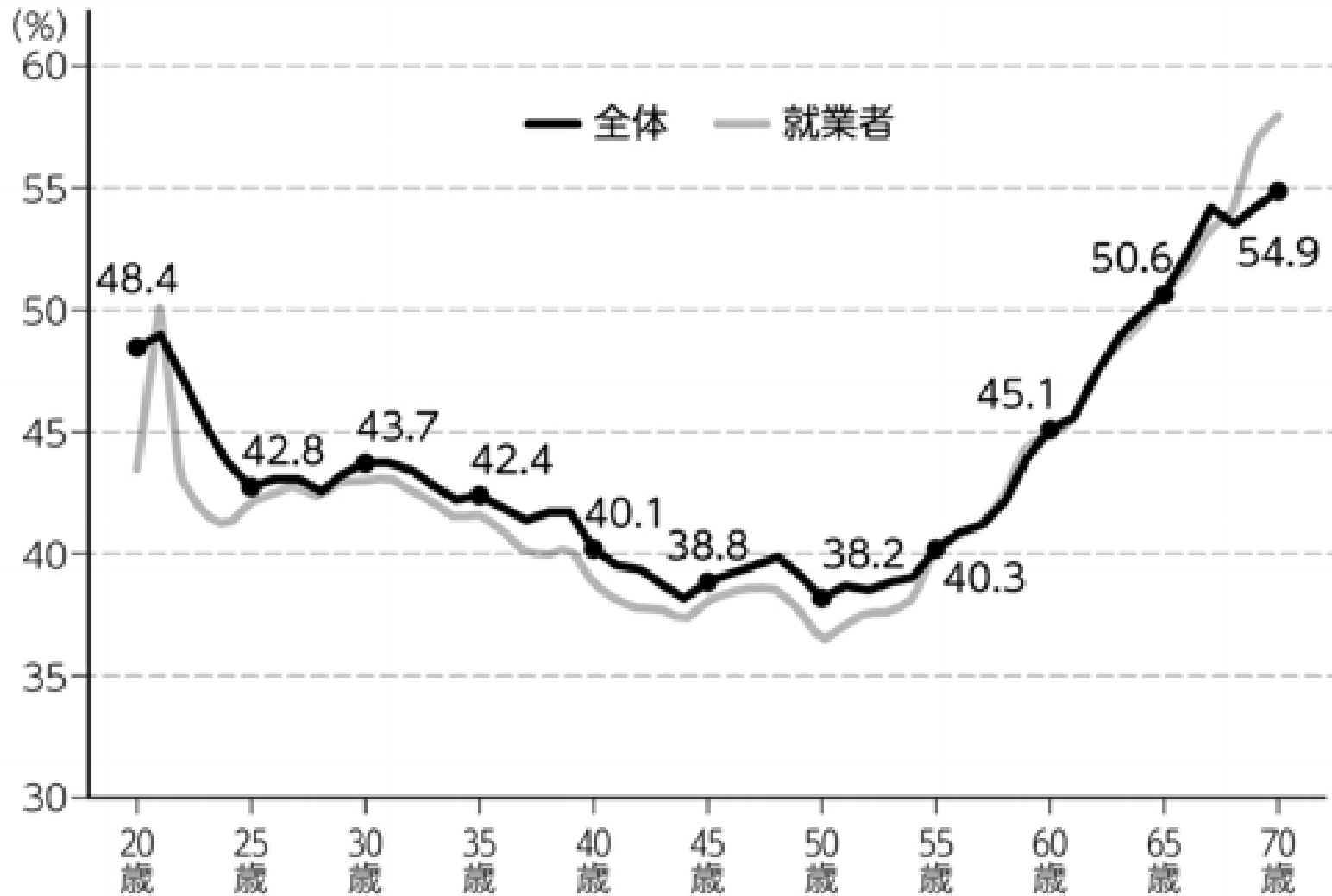


データからいえること

実は・・・
定年後の方が
幸福度が高い

年齢別の幸福である人の割合

図表1-37 年齢別の幸福である人の割合



(注)2019年の値

(出典)リクルートワークス研究所「全国就業実態パネル調査」

定年後の老後は悲惨・・・
というイメージは間違い



ただ思考停止ではダメ
だけれど、準備をすれば
幸福を掴むことができる



定年後の安心した
老後を送ることはできる

世界的にも幸福度は人生の中盤に最も低くなる

中盤に低くなる理由は2つ

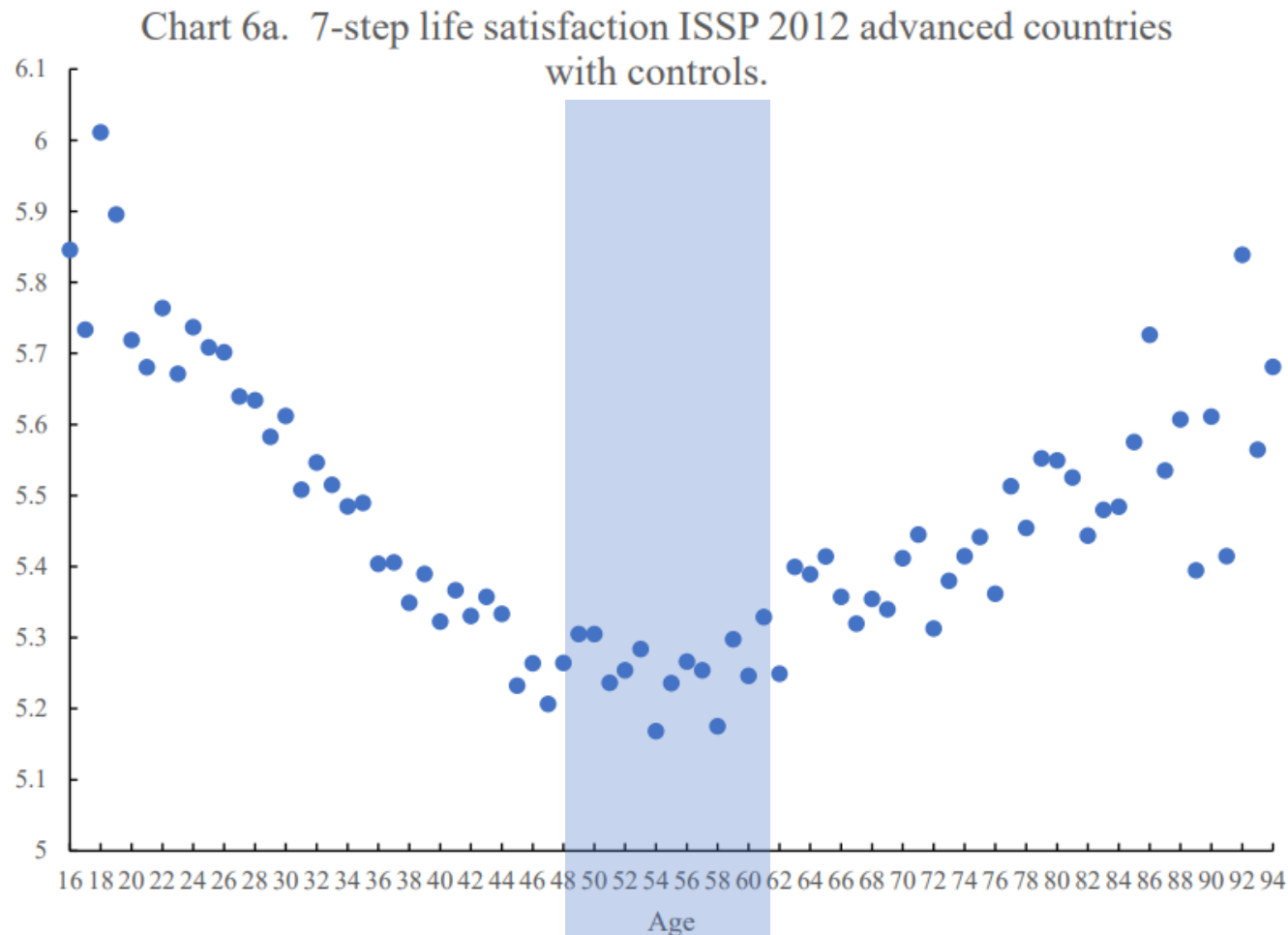
- ①この時期に自分の夢は叶わないことを悟るから 例) ○○にはもうなれない
- ②子育てと仕事のプレッシャーの両立、失業、別居等に苦しむから 例) 教育費と仕事の忙しさのピーク

<幸福度が最も低くなる年齢>

先進国: **47.2** 歳

発展途上国: **48.2** 歳

世界共通でU字型



出典:デービッド・ブランチフラワー「IS HAPPINESS U-SHAPED EVERYWHERE? 」より作成

最後に、知識定着のためアウトプットを提出してください

毎回出席（提出の有無）を確認しています

A	B	C	D	E
お名前	2023/07/03（当日）	2023/07/03（後日）	7月19日（当日）	7月19日（後日）
Aya	☐	☐	☐	☐
EMI	☐	☐	☐	☐
harue	☐	☐	☐	☐
Hitomi	☐	☐	☐	☐
K	☐	☐	☐	☐
kaori	☐	☐	☐	☐
LUCY	☐	☐	☐	☐
manzana	☐	☐	☐	☐
masashi	☐	☐	☐	☐
Mayu	☐	☐	☐	☐
mi	☐	☐	☐	☐
RYOKO	☐	☐	☐	☐
Yoko	☐	☐	☐	☐
あきこ	☐	☐	☐	☐
あべ	☐	☐	☐	☐
おざわ	☐	☐	☐	☐

【Q7】（自由記述）もっとあなたが学んでいきたいことを教えてください。

回答を入力

7月の勉強会のアウトプットシート

知識を定着させるために、必ずアウトプットしてください。※アウトプットしていない場合、出席にはカウントできません。

このフォームでは、すべての回答者からのメールが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)

【Q1】 LINEのお名前を記入してください。 *

記述式テキスト（短文回答）

【Q2】 勉強会の参加方法を記入してください。 *

- ☐ （当日参加）7月3日（月）
- ☐ （後日動画）7月3日（月）
- ☐ （当日参加）7月19日（水）
- ☐ （後日動画）7月19日（水）

ちよび

アウトプットシートの期限

1週間後の7月23日(火)まで

(この日を過ぎたら過去動画アウトプットの方をお願いします)

【7月の勉強会の予定】

参加型勉強会	7月9日(火)
セミナー型勉強会	7月16(火)
参加型勉強会	7月22日(月)
セミナー型勉強会	7月29日(月)

ご質問タイム

本日の説明の中で
わからなかった点がありますか？

質問などご自由にお願ひします。

※直接聞けなかった方は、
アウトプットシートにご記入ください。